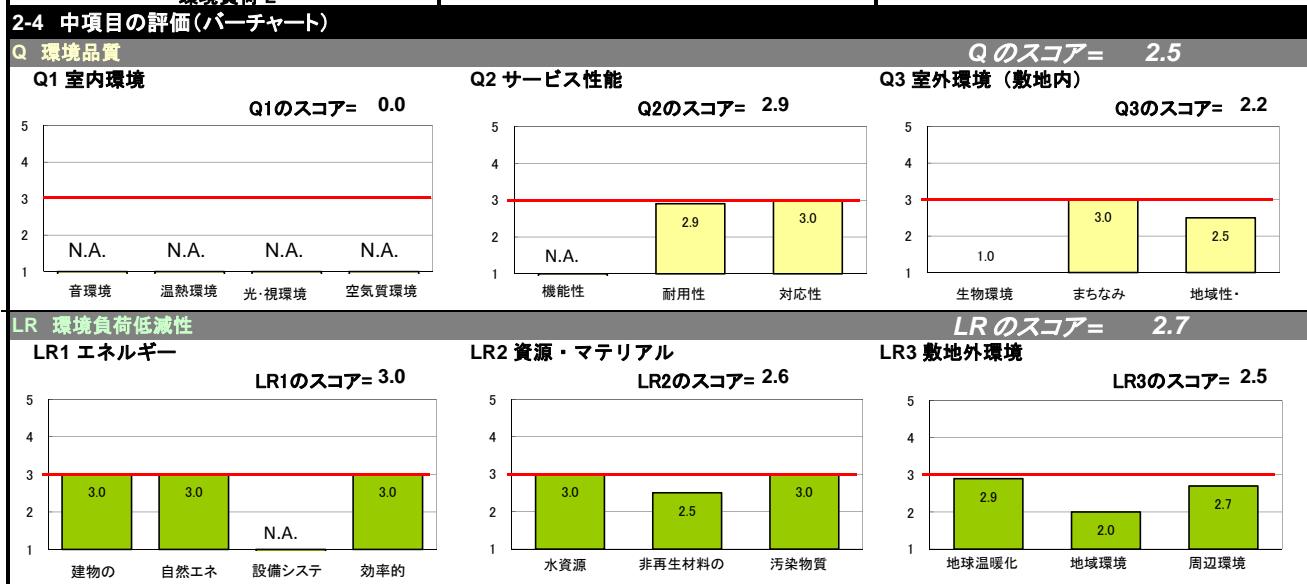
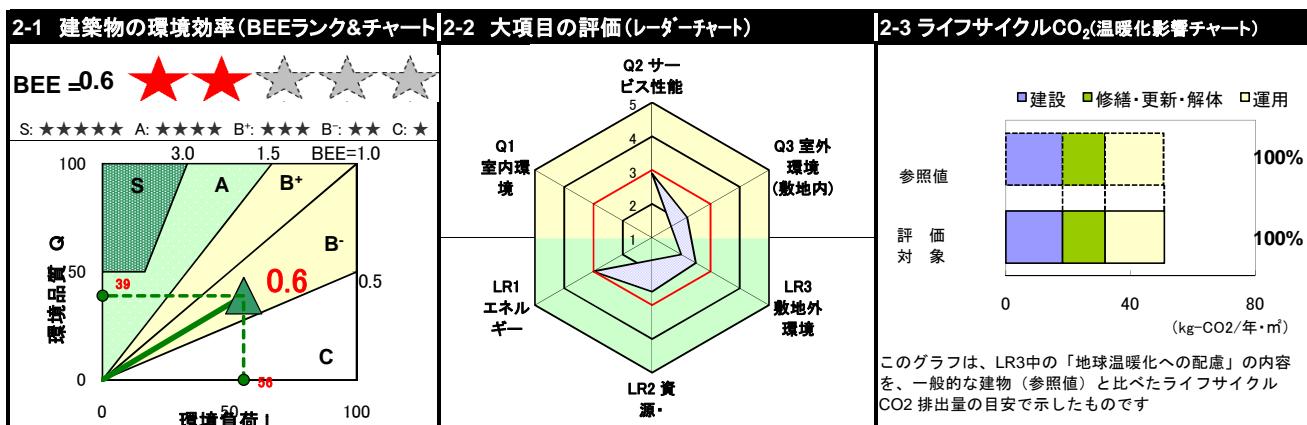


# CASBEE™ 新築[簡易版]

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 カンデンエンジニアリング 京都支店	階数	地上4F
建設地	京都市南区西九条仮現寺町5-3、6	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	2人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,000時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年3月 予定	評価の実施日	2007年9月22日
敷地面積	1,696 m <sup>2</sup>	作成者	山野設計(株)中田光輝
建築面積	1,159 m <sup>2</sup>	確認日	2007年9月22日
延床面積	4,615 m <sup>2</sup>	確認者	山野設計(株)山野成信



3 設計上の配慮事項		その他	
<b>総合</b>		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b>	
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>	
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される